

李白上目次

凡例	一
李白とその詩	一
古風（卷二）	一
古風五十九首 其一（古風五十九首 其の一）	一
其二（其の二）	三
其三（其の三）	三
其四（其の四）	三〇
其五（其の五）	三四
其六（其の六）	五六
其七（其の七）	五六
其八（其の八）	四
其九（其の九）	四
其十（其の十）	四
其十一（其の十一）	四
其十二（其の十一）	四
其十三（其の十三）	四
其十四（其の十四）	四
其十五（其の十五）	四
其十六（其の十六）	四
其十七（其の十七）	四
其十八（其の十八）	四
其十九（其の十九）	四
其二十（其の一十）	四
其二十一（其の二十一）	四
其二十二（其の二十二）	四
其二十三（其の二十三）	四
其二十四（其の二十四）	四
其二十五（其の二十五）	四
其二十六（其の二十六）	四
其二十七（其の一十七）	四

其二十九 (其の二十九)	三四	烏棲曲 (烏棲曲)	三四
其三十 (其の三十)	三五	戰城南 (戰城南)	三七
其三十一 (其の三十一)	三六	將進酒 (將進酒)	三四
其三十四 (其の三十四)	三七	行行遊且獵篇 (行行遊且獵篇)	四五
其三十五 (其の三十五)	三八	飛龍引二首 其一 (飛龍引二首 其の一)	四五
其三十九 (其の三十九)	三九	其二 (其の二)	五六
其四十 (其の四十)	三九	其三 (其の三)	五六
其四十二 (其の四十二)	三九	行路難三首 其一 (行路難三首 其の一)	五六
其四十八 (其の四十八)	三九	其二 (其の二)	五六
其五十四 (其の五十四)	三九	長相思 (長相思)	五六
其五十九 (其の五十九)	三九	上留田 (上留田)	五六
前有樽酒行二首 其一 (前有樽酒行二首 其の一)	三九	春日行 (春日行)	五六
其二 (其の二)	三九	夜坐吟 (夜坐吟)	五六
野田黃雀行 (野田黃雀行)	三九	野田黃雀行 (野田黃雀行)	五六
笙箋謠 (笙箋謠)	三九	上雲樂 (上雲樂)	五六
日出入行 (日出入行)	三九	古朗月行 (古朗月行)	五六
獨不見 (獨不見)	三九	獨不見 (獨不見)	五六
東海有勇婦 (東海に勇婦有り)	三九	白紵辭三首 其一 (白紵辭三首 其の一)	五六
黃葛篇 (黃葛篇)	三九	其二 (其の二)	五六
其三 (其の三)	三九	其三 (其の三)	五六
塞下曲六首 其一 (塞下曲六首 其の一)	三九	東海有勇婦 (東海に勇婦有り)	五六
其二 (其の二)	三九	黃葛篇 (黃葛篇)	五六
荊州歌 (荊州歌)	三九	其四 (其の四)	五六
相逢行 (相逢行)	三九	其五 (其の五)	五六
古有所思 (古有所思)	三九	其六 (其の六)	五六
久別離 (久別離)	三九		
採蓮曲 (採蓮曲)	三九		
白頭吟 (白頭吟)	三九		
樂府一 (卷三)		樂府一 (卷三)	
遠別離 (遠別離)	一〇六	胡無人 (胡無人)	一〇七
公無渡河 (公無渡河)	一〇三	北風行 (北風行)	一〇一
蜀道難 (蜀道難)	一〇六	俠客行 (俠客行)	一〇四
梁甫吟 (梁甫吟)	一〇四	關山月 (關山月)	一〇八
烏夜啼 (烏夜啼)	一〇三		
樂府二 (卷四)		結襪子 (結襪子)	一〇四
獨漉篇 (獨漉篇)	一一一	結客少年場行 (結客少年場行)	一一一
楊叛兒 (楊叛兒)	一二五	長干行二首 其一 (長干行二首 其の一)	一二四
山人勸酒 (山人酒を勧む)	一二七	古朗月行 (古朗月行)	一二八
于闐採花 (于闐花を採る)	一二三	獨不見 (獨不見)	一二五
王昭君二首 其一 (王昭君二首 其の一)	一二三	東海有勇婦 (東海に勇婦有り)	一二六
其二 (其の二)	一二三	黃葛篇 (黃葛篇)	一二七
荊州歌 (荊州歌)	一二七		
相逢行 (相逢行)	一二八		
古有所思 (古有所思)	一二九		
久別離 (久別離)	一二九		
採蓮曲 (採蓮曲)	一二九		
白頭吟 (白頭吟)	一二九		
樂府三 (卷五)			
其二 (其の二)	二七		
其二 (其の二)	二七		
其三 (其の三)	二七		
其四 (其の四)	二七		
其五 (其の五)	二七		
其六 (其の六)	二七		

玉階怨（玉階怨）
襄陽曲四首 其一（襄陽曲四首 其の一） 三六
其二（其の二） 三六
其三（其の三） 三一
其四（其の四） 三一
大堤曲（大堤曲） 三一
宮中行樂詞八首 其一（宮中行樂詞八首 其の一） 三一
其二（其の二） 三一
其三（其の三） 三一
其四（其の四） 三一
其五（其の五） 三一
其六（其の六） 三一
其七（其の七） 三一
其八（其の八） 三一
清平調詞三首 其一（清平調詞三首 其の一） 三一
其二（其の二） 三一
其三（其の三） 三一
鼓吹入朝曲（鼓吹入朝曲） 三〇
東武吟（東武吟） 三〇

邯鄲才人嫁爲斬養卒婦（邯鄲の才人嫁して斬養卒の婦と爲る） 三〇七
出自薊北門行（出自薊北門行） 三〇八
丁都護歌（丁都護歌） 三三
少年行二首 其一（少年行二首 其の一） 三四
其二（其の二） 三四

高句驪（高句驪） 三七
靜夜思（靜夜思） 三八
滌水曲（滌水曲） 三九
猛虎行（猛虎行） 三〇
秋思（秋思） 三〇
春思（春思） 三〇
秋思（秋思） 三一
子夜吳歌 春歌（子夜吳歌 春歌） 三一
子夜吳歌 夏歌（子夜吳歌 夏歌） 三一
子夜吳歌 秋歌（子夜吳歌 秋歌） 三一
金陵城西樓月下吟（金陵城西樓月下吟） 三九
東山吟（東山吟） 三九
秋浦歌十七首 其一（秋浦歌十七首 其の一） 三九
其二（其の二） 三九
其三（其の三） 三九
其四（其の四） 三九
其五（其の五） 三九
其六（其の六） 三九
其七（其の七） 三九
其八（其の八） 三九
其九（其の九） 三九
其十（其の十） 三九
其十一（其の十一） 三九
其十二（其の十二） 三九

勞勞亭歌（勞勞亭歌） 三一
白雲歌送劉十六歸山（白雲歌 刘十六の山に歸るを送る） 三一
橫江詞六首 其一（橫江詞六首 其の一） 三一
其二（其の二） 三一
其三（其の三） 三一
其四（其の四） 三一
其五（其の五） 三一
其六（其の六） 三一
其七（其の七） 三一
其八（其の八） 三一
其九（其の九） 三一
其十（其の十） 三一
其十一（其の十一） 三一
其十二（其の十二） 三一

梁園吟（梁園吟） 三五
鳴皋歌送岑徵君（鳴皋歌 岑徵君を送る） 三五
同二族弟金城尉叔卿燭照山水壁畫歌（族弟の金城の尉叔卿と同時に燭もて山水壁畫を照らす歌） 三五
扶風豪士歌（扶風豪士歌） 三五
元丹丘歌（元丹丘歌） 三五
江上吟（江上吟） 三七
玉壺吟（玉壺吟） 三五
金陵城西樓月下吟（金陵城西樓月下吟） 三九
東山吟（東山吟） 三九
秋浦歌十七首 其一（秋浦歌十七首 其の一） 三九
其二（其の二） 三九
其三（其の三） 三九
其四（其の四） 三九
其五（其の五） 三九
其六（其の六） 三九
其七（其の七） 三九
其八（其の八） 三九
其九（其の九） 三九
其十（其の十） 三九
其十一（其の十一） 三九
其十二（其の十二） 三九

樂府四・歌吟上(卷六)

子夜吳歌 冬歌（子夜吳歌 冬歌） 三五
估客樂（估客樂） 三六
長相思（長相思） 三五
襄陽歌（襄陽歌） 三四
江上吟（江上吟） 三七
玉壺吟（玉壺吟） 三五
元丹丘歌（元丹丘歌） 三五
扶風豪士歌（扶風豪士歌） 三五
同二族弟金城尉叔卿燭照山水壁畫歌（族弟の金城の尉叔卿と同時に燭もて山水壁畫を照らす歌） 三五
勞勞亭歌（勞勞亭歌） 三一
橫江詞六首 其一（橫江詞六首 其の一） 三一
其二（其の二） 三一
其三（其の三） 三一
其四（其の四） 三一
其五（其の五） 三一
其六（其の六） 三一
其七（其の七） 三一
其八（其の八） 三一
其九（其の九） 三一
其十（其の十） 三一
其十一（其の十一） 三一
其十二（其の十二） 三一

其十三 (其の十三) 四〇五
 其十四 (其の十四) 四〇六
 其十五 (其の十五) 四〇七
 其十六 (其の十六) 四〇八
 其十七 (其の十七) 四〇九

當塗趙炎少府粉圖山水歌 (當塗趙炎少府粉圖山水歌) 四一〇
 永王東巡歌十一首 其一 (永王東巡歌十一首 其の一) 四一〇
 其二 (其の二) 四一五
 其三 (其の三) 四一六
 其四 (其の四) 四一七
 其五 (其の五) 四一八
 其六 (其の六) 四一九
 其七 (其の七) 四二〇
 其八 (其の八) 四二一
 其九 (其の九) 四二二
 其十 (其の十) 四二三
 其十一 (其の十一) 四二四

上皇西巡南京歌十首 其一 (上皇西巡南京歌十首 其の一) 一
 其四 (其の四) 四六
 其十 (其の十) 四六
 峨眉山月歌 (峨眉山月歌) 四元
 峨眉山月歌送蜀僧晏入中京 (峨眉山月歌 蜀僧の晏の
中京に入るを送る) 四〇
 江夏行 (江夏行) 四三
 清溪行 (清溪行) 四六
 臨路歌 (路に臨む歌) 四三
 山鵞鵠詞 (山鵞鵠詞) 四六

李白略年譜 四四
 李白関連地図 四四
 詩の韻律について 四四